

病床機能の転換予定に関する理由書

令和3年1月7日

宮城県保健福祉部医療政策課長 殿

栗原市病院事業管理者 平本 哲也

1 変更の内容

栗原市立 栗駒病院	2020年12月時点医療機能		
	病棟名	医療機能	病床数
	一般病棟（2階）	急性期	45床
	療養病棟（3階）	慢性期	30床※内訳：医療2床、介護28床
	合計 2病棟 75床		
	↓		
	2021年4月時点医療機能		
	病棟名	医療機能	病床数
	療養病棟（2階）	慢性期	45床※内訳：医療45床
	合計 1病棟 45床		

2 変更の具体的な理由（現状と変更する必要性、地域で必要とされる役割）

栗原市では病院事業全体として110床の減床を計画しており、計画後は栗原中央病院250床（慢性期50床減床）、若柳病院90床（急性期30床減床）、栗駒病院45床（急性期45床減床し慢性期15床増床、令和3年4月～）での稼働予定となっています。

当院は「1 変更の内容」のとおり病床再編を計画しており30床減床となりますが、病床機能では慢性期病床が15床増床となります。急性期病床を削減し慢性期病床を増床する理由として、①当院入院患者の約9割が75歳以上の後期高齢者であり慢性期入院が多い、②療養病棟の稼働率が75%程度で推移しており慢性期病床の必要性が高いことなどがあげられます。

また、令和3年4月1日現在では一時的に慢性期病床が増床となりますが、栗原中央病院の慢性期病床減床に伴う病床機能分化・連携により、病院事業全体の計画として慢性期病床は35床減床となります。

今後も栗原中央病院や若柳病院と連携し、慢性期を担う地域密着型の病院として地域医療への貢献を高めていきたいと思っております。

担当：栗原市立栗駒病院
事務局医事係 鈴木